



国労せんたい

速報版

No .2692

2015年3月7日

元 沼 大 責 發

編責 武田 昌仙

アベニミクスに反撃を！

国労東北 大幅賃上げ勝ち取るぞ

3月6日、仙台市内において国労東北総決起集会が開催され、375人の国労東北の仲間が結集した。

仙台市民会館での集会は二部構成で行われ、第一部として、財団法人国鉄労働会館主催の東北労働講座が行われた（左記）。

第二部は、国労東北総決起集会が行われ、主催者を代表し、東日本本部佐藤正幸書記長と東北協議会佐藤浩一議長がそれぞれあいさつを行い、春闘情勢と会社の動向、国労の取組み、15春闘勝利と諸課題の前進、そして

闘いを通じて新しい仲間を国労に迎え入れる決意を固め合おうと訴えた。

また来賓として、社民党宮城県連合田山副幹事長、日本共産党宮城県委



集会会場の様子

の
前段には、仙台支社
前と仙台駅東口におい
て早朝チラシ配布行動
が取り組まれた。
チラシには、「賃金

市民・会社にアピール

仙台支社前での行動（上・下）



引き上げ」「安全運行に逆行する業務委託化反対」「格差社会をなくそう」「外注化とJR貨物問題」「反原発」「改憲・戦争反対」など、多くの課題と要求が書き込まれており、広く市民にアピールを行った。



労働講座 目の前から

講座では「15春闘情勢と労働運動の」と題して、寺西弘樹氏（まなぶ編集長）が講演を行った。

寺西氏は、「アベノミクス」と言われる構造改革が、何を変え、何をもたらしたのかを豊富な資料と具体的な事例から分かりやすく説明し、その正体を暴いた。

場を振り返る) ▲仲間の組織化(仕方ない・あまり関係ない・面倒くさいがアベノミクスと改憲を進める) ▲自らの位置を知る(自分の賃金はいくらなのか賃金カーブを知

そして私達働くものの課題として、賃下げを止めるためには、「基本的なことから始めるしかない

る、職場企業を超えて交流し共通した課題を確認（することが大切と述べて講演を締め括った。

い」そして、▲目の前にあることから（残業・働



デモ行進で氣勢を上げる参加者

夫人国鉄労働



氏西寺する演講

仙台市内になびく赤旗



賃上げ労働条件改善を

員会角野県民運動委員長、
平和労組・平和フォーラム
東北ブロック菅原事務
局長からそれぞれあいさ
つを受け、東北交運労協

からは連帯のメッセー
を頂いた。

集会は、盛岡地本小村
副委員長、秋田地本高橋
副委員長、仙台地本歌田
副委員長及び東北貨物協
議会高橋副議長からそれ
ぞれ力強い決意表明を受
け、東北協議会佐々木副
議長の閉会のあいさつ後、
佐藤議長の団結頑張ろ
で締められた。

集会後に参加者は4ブ
ロックに分かれ仙台市中
をデモ行進。

賃上げを始めとした学
働条件の改善や安全問題
などの国労要求をシュプ
レヒコールで市民にアピ
ルし、氣勢を上げた。